

7月27日(土)

— 海峡に生きた縄文村! —

ふるの

いせき

古野(2)遺跡

下北郡風間浦村大字易国間

【受付時間】 12:30~

【見学時間】 13:00~14:30

事前申し込み不要・現地集合

※参加無料!



4,500年前の竪穴建物跡の床面に立ってみませんか? 石で囲った炉跡の周りでは縄文人の声が聞こえてきそうです。

4,000年前の食料貯蔵用の穴の中から完全な形の土器2個が出土しました。



津軽海峡に面したこの丘には、縄文時代の人々の生活跡が刻み込まれていました。古野(2)遺跡では道路建設に伴い、平成31年4月24日から8月9日までの予定で、発掘調査を行っています。

ここでは約5,000年前に縄文人が暮らしはじめ、彼らが捨てた土器・石器が見つっています。その後、約4,300年前にも縄文人が村を作り、彼らが暮らした住居の床には、石で囲った炉や大きな柱穴が作られていました。約4,000年前になると、斜面には食べ物を保管する穴が掘られています。平場で見つかった長さ2~3mの細長い穴はシカを獲る落とし穴と考えられています。

説明会当日は、竪穴建物跡や食料貯蔵穴のほか、出土した土器・石器、昨年調査を行った古野(3)遺跡の縄文時代の遺物も展示します。

※13:00より遺跡と遺物について、専門職員が説明いたします。

※足元が悪いため、歩きやすい靴でお越しください。

※満車時・荒天時は風間浦村民野球場隣の駐車場をご利用下さい。(遺跡まで約300m、徒歩5分)

※雨天の場合、出土品展示のみとなることがあります。

【お問い合わせ】

- 青森県埋蔵文化財調査センター
017-788-5701 [平日のみ]
<http://www.ao-maibun.jp/>
- 遺跡発掘調査事務所
090-3361-7374 [当日のみ]

